

◆ ご相談者 ◆

市内の社会福祉法人（14 法人）の意見・情報交換を目的とした連絡協議会
【事務局：市社協】



ご相談の内容

市内の社会福祉法人では、福祉人材の確保・定着が共通の課題となっています。そこで、市内の社会福祉法人の理事長等が一堂に会する連絡協議会（14 法人と市社協で構成）において、“福祉職場における人材育成”をテーマに、どのような点に留意しながら人材育成を図れば定着するのか等について講義をお願いします。

支援の内容

各法人経営者の皆さんに、職員の定着には、人材育成、すなわち職場研修が欠かせないことを改めてご理解いただけるよう、福祉職場における人材育成の取り組みや離職との関係に関する調査結果（※）をお示ししながら、人材の“育成”が“定着”の鍵になることをご説明しました。

また、職場研修は職場ぐるみで役割を分担しながら取り組むことが重要であり、そのための経営者の役割として、①職員に対し、法人の経営理念や経営目標をはじめ、将来職員が目指すべき方向性や役割、身につけて欲しい能力の道筋（キャリアパス）を明確に示すこと、②研修担当者や研修委員会を設置し役割と権限を明確に与えるなど、職場をあげて研修に取り組む仕組みを構築し、構築後は担当者等への日常的な協力・支援が欠かせないこと等をご説明しました。

※1 公益財団法人介護労働センター 平成 23 年度介護労働実態調査結果（H24 年 8 月）

- ・ 働く上での悩み、不安、不満の解消に役立つと思う取り組みとして、「介護能力の向上に向けた研修（41.8%）」や「実務の中で、上司や先輩から指導や助言を受ける機会の設定（35.2%）」を挙げる割合が高い。

※2 全国社会福祉協議会 社会福祉施設の人材確保・育成に関する調査報告書（H20 年 7 月）

- ・ 離職率が低い法人ほど、多様な研修機会を設けている割合が高い傾向にある。

職場研修アドバイザーからの一言アドバイス

- 人材の“育成”が“定着”の鍵になります。
- 職場研修は、職員皆で役割を分担し、職場ぐるみで取り組むことが必要です。
- 職場研修には、経営者の皆さんの“職場をあげて取り組む仕組みづくり等の環境整備と日常的な協力・支援”が不可欠です。